

【オンライン講義部分のみ】地域共生社会の実現のための制度活用講座(カリキュラム)

使用テキスト ①『三訂成年後見実務マニュアルQ&A』 ②『社会福祉士がつくる身上監護ハンドブック 第2版』

実施日	時間	授業	内容	形態	講師(予定)	使用テキスト	
						①	②
6月6日(土) ※Zoom	9:15~9:30	開会挨拶 オリエンテーション					
	9:30~11:00	1 地域共生社会について	国で検討されている地域共生社会について理解する。	講義	永田 祐(同志社大学 教授)	○	○
	11:10~12:40	2 権利擁護支援の視点と社会福祉士に求められる役割	社会福祉士の倫理綱領や行動規範をベースとして、専門性を活かした成年後見人等だけではなく、地域の権利擁護支援の実践者としての活動内容を理解する。	講義	熊倉 千雅(権利擁護センターばあとなあ東京・認定社会福祉士)	○	
	13:30~15:00	3 法定後見制度・任意後見制度について	現在の民法における法定後見制度、また、任意後見契約法における任意後見制度について、その概要を理解する。	講義	長尾 愛女(弁護士)	○	
	15:10~16:40	4 日常生活自立支援事業と総合的権利擁護事業について	1 社会福祉協議会等が行う様々な権利擁護に関わる事業や法テラス等について知識と具体例を知る。 2 日常生活自立支援事業と成年後見制度との関係性を理解する。	講義	小川 和江(東京都社会福祉協議会 地域福祉部長)	○	
6月7日(日) ※Zoom	9:15~10:45	5 児童福祉における権利擁護	児童虐待への対応、未成年後見の実際と、意見表明権など、児童福祉分野における権利擁護について理解する。	講義	松村 茂(権利擁護センターばあとなあ東京・社会福祉士)	○	
	11:00~12:30	6 司法福祉の理解	累犯障害者等が地域での生活を継続するために成年後見制度を含む権利擁護の必要性を理解する。	講義	澤 陽子(司法福祉委員会・社会福祉士)		
	13:30~15:00	7 消費者被害や悪徳商法への対応	専門機関である消費者センターの機能を理解し国の取組状況などの最新情報を理解する。	講義	早野木 美(東京都消費生活総合センター 消費者啓発員)		
	15:15~16:45	8 高齢者障害者虐待防止法の理解	法律の知識を習得し、社会福祉士会や社会福祉士がどのように関与しているかを理解する。	講義	乙幡 美佐江(東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター専門相談員・社会福祉士)		
7月18日(土) ※Zoom	9:15~10:45	9 成年後見制度利用促進法と基本計画の理解	1. 2016年に成立した利用促進法、第1期基本計画や第2期基本計画について、理解する。 2. 1. を踏まえ、成年後見制度の進むべき方向性や社会福祉士として自らが取り組む役割や課題を理解する。	講義	星野 美子(権利擁護センターばあとなあ東京・認定社会福祉士)		
	11:00~12:30	10 中核機関の実務の実際について	第2期基本計画を踏まえた、中核機関の役割と機能を理解する。権利擁護支援を検討する会議の運営と事例の実際、地域連携ネットワークのありかたなどを理解する。	講義	①楠 史子(江戸川区社会福祉協議会) ②仲泊 昌仁(町田市社会福祉協議会)		
	13:30~15:00	11 意思決定支援の基本	社会福祉援助を必要とする対象者に対峙する際に必要となる意思決定支援の基本的な中身を理解する。	講義	水島 俊彦氏(弁護士)		○